

小耳症 エキスパンダー挿入術 の患者さん (入院診療計画書)

患者ID:

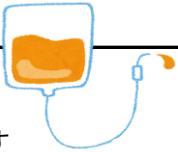
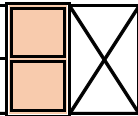
性別: 生年月日: 病棟: 病室:

患者氏名: 病名:

小耳症

 症状:

入院日:

経過	入院 1日目		入院 2日目		
	1900/1/0		1900/1/1		
			手術前	手術後	
患者目標	入院・手術の準備が出来る 		手術の準備が出来る	手術部位の安静を保つ事が出来る 	
治療・処置	外来ですること ・麻酔科診察があります ・手術部位にマーキングを行います		・（ ）時に座薬を挿肛します ・（ ）時にお薬を飲みます	・点滴をします ・抗生剤の投与があります ・痛みがある場合は薬を使用して和らげます ・尿の管が入っている場合があります	
活動	病棟内自由です		お薬を使用した後はふらつくため、ベッド上で安静に過ごして下さい	・麻酔から目が覚めたらトイレ・洗面が出来ます 手術直後は体を動かす際には看護師を呼んで下さい ・トイレ・洗面以外はベッド上で安静に過ごしましょう ・耳を心臓より高く保つために、ベッドの背もたれを少し上げるか、高い枕を使用します	
食事	・通常通り食べられます ・夕食以降は禁食です		・朝食はありません ・飲水は（ ）時の（ ）mlが最後です	・帰室後1時間したら飲水出来ます ・問題なく水が飲めたら食事を摂る事が出来ます	
清潔	シャワーに入れます		手術日なのでシャワーや体拭きはありません		
説明・指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 手術のオリエンテーションを行います ☐ 手術・麻酔・身体抑制・ピオクタニンの同意書をお預かりします		☐ 午前、手術室に入室の場合は午前8時までに病室にお越しください ☐ 午後、手術室に入室の場合は午前11時までに病室にお越しください	☐ 手術した方の耳をぶつけないようにしましょう ☐ ベッドで横になる時は、手術した方の耳を下にしないようにして下さい ☐ 傷の近くに入っている管が抜けないように注意しましょう	
「栄養管理/褥瘡対策」要判断	☐ 特別な栄養管理の必要性		「手術/検査日程」要入力	実施有無： ☐ 有 日程：	
	☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性			内容： エキスパンダー挿入	
メモ：					

小耳症 エキスパンダー挿入術 の患者さん (入院診療計画書)

患者ID:

性別:

生年月日:

病棟:

病室:

患者氏名:

病名:

小耳症

症状:

入院日:

経過	入院 3日目		入院 4 ～ 8日目	入院 9日目(退院日)
	1900/1/2		1900/1/3 ～ 1900/1/7	1900/1/8
患者目標	・手術部位の安静を保つ事が出来る ・痛みを薬で調整する事が出来る ・立つ・歩くを少しずつ行う事が出来る			退院後の生活をイメージする事が出来る
治療・処置	・点滴があります ・抗生剤の投与が終了し食事をしっかり摂取出来ていたら点滴を抜くことができます。 ・毎日傷のガーゼ交換を行います。 ・傷の近くに管が入っています。 ・痛み止めを1日3回まで使用出来ます。		・毎日傷のガーゼを交換します ・手術後4日目に傷の管を抜きます ・手術後6日目に抜糸します ・痛み止めを1日3回まで使用出来ます	・退院前に診察があります ・傷の状態に応じてガーゼ交換を行います
活動	・トイレ・洗面以外はベッド上で安静に過ごしましょう ・病棟内プレイルーム以外は自由です			手術後3週間は運動は避けて、おとなしく過ごして下さい
食事	通常通り食べられます。			制限はありません
清潔	体拭きをします		傷のガーゼを濡らさないように首から下のシャワー浴を行います	・退院後は傷の部位も優しく洗って下さい ・次回の外来までは湯船にはつからずシャワー浴のみとして下さい
説明・指導	☐ 手術した方の耳をぶつけないようにしましょう ☐ ベッドで横になる時は、手術した方の耳を下にしないようにします ☐ 傷の近くに入っている管が抜けないように注意しましょう			☐ シャワーの後1日1回ガーゼを交換して下さい ☐ ガーゼがずれたら適宜戻して下さい ☐ 手術をしたほうの耳をぶつけないようにしましょう

主担当医氏名: 印

主担当医以外の担当者: _____

注) 上記の内容・期間は現時点で考えられるものであり、今後状態の変化に応じて変わることが考えられます。

年

月

日

上記の説明を受けました。

患者・家族サイン: _____ (続柄)